

## 研究協力のおお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、各研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

一般・消化器外科学教室

### 記

研究の名称	医療用画像処理ソフトウェアを用いた肝切除に対する教育・研究・術中ナビゲーションへの評価・活用
対象	あなたが対象者として選定されたのは、2021年10月1日から2025年3月31日までに一般消化器外科にて手術を施行もしくは予定の患者さんであるためです。この研究には、30人の患者さんに参加していただく予定です。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2026年3月31日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>当院では、肝切除症例を年間約 100 例程度施行しています。それらのほぼ 100% の症例が術前 CT を用いて富士フイルム株式会社の SYNAPSE VINCENT ( シナプス・ヴィンセント ) を用いて脈管などをなどの 3D 構築を行い、術前のシミュレーションを行っています。肝臓の切除ボリュームを計測出来、術後の肝不全予防にも大きく貢献し、手術を安全に行うためには必須のアイテムとなっています。ただ、3D 構築されたものではあるものの画面上の処理であり平面モニター上(2D)の範疇を超えることはありませんでした。</p> <p>今回、当科 2021 年 10 月から「Holoeyes XR」の Oculus® Quest を用いることで Vincent で 3D 構築した画像を Virtual reality(VR)に変換するシステムを使用しております。それにより、さらなる解剖の理解が深まり、若手医師の教育・患者さんへのより詳しい説明が可能と思われ、引いては手術の安全性の向上につな</p>

	<p>がるものと考えております。</p> <p>さらに、そのVRを『HoLoLens』を用いて術中に投影したいと考えております。これは、手術をより安全に行うナビゲーションへの可能性があります。術中そのVRと実際の解剖がどこまで一致していくかなどを検討したと思っています。</p> <p>現在肝胆膵手術を中心に行っておりますが、食道・胃・大腸においても同様に教育・患者説明を中心として評価していきたいと考えています。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>臨床所見（肝切除手術日、年齢、性別、身長 cm、体重 kg、糖尿病の有無など）</p> <p>術前血液検査所見（白血球数(/<math>\mu</math>L)、アルブミン値(g/dL)など）</p> <p>術前画像所見</p> <p>手術手術所見（手術時間（分）、出血量など）</p> <p>術後経過所見（術後炎症所見の推移、入院期間など）</p> <p>病理検査所見（悪性度所見など）</p>
<p><b>研究者名</b></p> <p>【研究責任者】</p> <p>一般・消化器外科学          講師(准)          米田 浩二</p>	
<p><b>参加拒否の申し出について</b></p> <p>ご自身の診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。</p> <p>参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<p><b>&lt;問い合わせ窓口&gt;</b></p> <p>〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号</p> <p>大阪医科薬科大学 一般・消化器外科学教室</p> <p>担当者          米田 浩二</p> <p>連絡先          072-683-1221（代） 内線2361</p>	

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿  
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学  
担当者 米田 浩二 殿

課題名	医療用画像処理ソフトウェアを用いた肝切除に対する教育・研究・術中ナビゲーションへの評価・活用
-----	------------------------------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否いたします。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）